

信濃毎日新聞

1873年(明治6年)創刊
 発行所
 信濃毎日新聞社
 長野本社 〒380-8546
 長野市南県町 657番地
 電話(026)
 受付 236-3000 編集 236-3111
 販売 236-3310 広告 236-3333
 松本本社 〒399-8711
 松本市宮田 2番10号
 電話(0263) 編集 25-2151
 販売・広告・事業 25-2153
 ©信濃毎日新聞社 2015年

8月20日(木)

「松本一本ねぎ」ギョーザに 信栄食品 自社ブランド展開



松本一本ねぎを使って商品化した信栄食品のギョーザ

ギョーザ製造の信栄食品(松本市)は19日、伝統野菜「松本一本ねぎ」を使ったギョーザを商品化したと発表した。首都圏をはじめ全国のスーパーや飲食店などにギョーザをOEM(相手先ブランドによる生産)供給してきたが、初の自社ブランド商品として開発。地元の伝統食材を全国に発信する。

松本市の紹介を受け、松本市農協ねぎ部会の生産者から松本一本ねぎを調達。ニンニクは使わず風味を十分に引き出し、原料の野菜や鶏肉は県産を中心に国産にこだわった。商品名は「松本一本ねぎ餃子」。1パック12個入りで参考価格350円。今月中旬、松本市内の一部スーパーや同

農協直売所、信栄食品の本社工場隣接の直営店、オンラインショップなどで先行販売を始めた。同社はスーパーの総菜コーナーなどで扱うギョーザをOEM供給し、年間3600万个を生産する。神倉藤男社長は「これまで縁の下の力持ちに徹し、一般消費者にほとんど知名度がなかったが、自社のブランド構築に向けた一歩を踏み出した」と強調。松本一本ねぎを使ったギョーザは年間50万个の生産を見込む。全国に販路を開拓するほか、神倉社長は「日本食ブームの東南アジアにも広めたい」としている。